

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2297200293		
法人名	株式会社 アイケア		
事業所名	グループホーム あいの街浜北		
所在地	静岡県浜松市浜北区於呂2406-1		
自己評価作成日	平成24年1月9日	評価結果市町村受理日	平成24年2月14日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡市葵区紺屋町5-8 マルシメビル6階		
訪問調査日	平成24年1月11日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>ご利用者様個々の生活歴を尊重し、画一化せざる負えない施設生活の中にも「私は、私である」と、実感できる生活の場を提供します</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>小規模多機能型居宅支援施設を併設していて、周辺には商店や民家も多い。事業所では、生活の場の延長の中で、我慢している部分を少しでも軽くできるよう、尊厳や個々の思いや考えを大切にしている。仕立てをしていた人に布を渡したり、畑仕事が好きな人にはプランターの野菜やさざんかの垣根の手入れをお願いしたりして、生き生きとした表情が引き出せるように支援していて、今後も趣味ややりたいことを尊重していきたいと考えている。開設してまだ8ヶ月で職員の体制が厳しい状況ではあるが、職員同士で業務の確認をしあい無駄のない動きができていて、チームワークの良さが感じられた。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「笑顔のある暮らし」実践につなげられるよう日々努力しています。	開設当初は事業所独自の理念がなかったので、昨年秋に作成した。泣いてしまうようなことがあっても最終的に笑顔になれることを目指して日々を過ごしている。また利用者の心に秘めていることや我慢していることを引き出せるように傾聴することを心がけている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	手さぐりの状態ながら、夏の花火、敬老会等へのご招待、又近くのスーパー、餅菓子屋での買い物等少しずつ交流を深めて行くよう努力している 寄付金等にも協力させていただいています	事業所専用のカートを購入し、買い物に行くのが楽しみになるようにしている。近隣のスーパーへ何度も行くうちにレジの店員と顔なじみの関係になり声をかけてもらうこともある。今後は、敬老会の際に来てくれたボランティアと定期的な交流を持ちたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	中学生の福祉体験実習への受け入れ、介護専門学校生のボランティア受け入れ等、地域に根付き貢献が出来るよう日々実践を重ねております		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一度開催している。 防災訓練は？ヒヤリ・事故報告を資料に挙げたほうが、とのご指摘も頂き都度対処しております。	市の職員、包括、民生委員、自治会長、副自治会長、老人会の皆さんが参加してくれる。運営推進会議の内容について市から助言をもらったり、災害時の対応について地域から提案をもらっている。地域から苦言をもらったこともあり、率直に言ってもらえている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進委員会への参加依頼 又月に一度浜松介護相談員の訪問をお願いしています。	運営推進会議に毎回参加してくれる。包括と空き情報のやりとりをしたり、ボランティアの依頼を社協にお願いしたり、多方面にわたり関係を構築している。市との連携はケアマネが中心になって行っている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	不穏状態への確認申し送りを徹底しており、手薄の状態の時のみ、時間を決め施錠するようしている、現在は見守りにて施錠は行ってはいない。	帰宅願望の強い利用者に対し職員の手薄になる時間帯は施錠していたが、不穏が強まってしまったため施錠をやめたところ、落ち着きが見られた。現在本部の研修に参加しているが、今後はさらに事業所独自の研修や勉強会に取り組む予定である。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴時での全身観察、表情、等の観察を重視しております。 御利用者様に対する言葉使い接し方都度注意を払っております		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	これから必要とさせる問題である、関係者の方々との話し合いの場を多く取って行き、学べる場の確保に努力したいと思います。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時はできる限り御利用者様とご家族様との話し合いの場を持って頂き納得の御入所頂くよう努めております。不安・疑問を最小限に努めるよう努力しております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様に関しては、普段の生活の中で意見要望をお聞きしている。ご家族に関しては、面会時やお電話にてお話しする機会をなるべく設けるようにし、生のご意見を伺うようにしている。	持ち回りで運営推進会議に参加してもらっている。「大丈夫ですよ」と家族を安心させることで意見や思いを職員に言いやすくなるよう工夫している。日用品の補充など職員が購入すれば済むこともあえて家族に聞いてコミュニケーションを図っている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週水曜日にフロアカンファレンスを行い日々の問題点を話し合い、毎月第4木曜日の全体ミーティングにて決定業務の統一を図るようにしている。	ケアに関する話し合いの中で意見を出しあっている。職員の提案や意見は内容によってケアマネージャーを通じて本部に伝えている。管理者は個々の様子を見ながら声をかけフォローに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各自の身体・精神状態に気を配り、やりがいのある職場作りに努めております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	各自の、得意、不得意を把握しそれに応じた研修等への参加を提供し介護への意欲向上を促していきたいと思っております。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	傘下内で行われる、セクション会議、又連絡協議会へ参加し、意見交換に努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活歴、現在の状況を把握し、ご家族を含め、職員の意見を統一し、できる限り安心の場の確保をさせて頂いております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所までの経過・問題点を共に考え、信頼関係の構築に心掛けております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	車椅子、ベットへの変更、食事形態等「今、どうしたら良いのか」を見極めご家族への説明業者提供などの支援を行っております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護させて頂く、できない事はお手伝いします。という気持ちを常に持ち、信頼関係を築くよう努めております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御利用者様からの、訴え、要望などはご連絡をさせて頂き、面会に関しては来て頂きやすい環境を整える様特に心掛けております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との外出、外泊への依頼をお願いしている。又、ご家族の了承の元、ご近所の方、お友達との面会の場を提供しております。	これまでに1回おたよりを発行し送付している。家族と過ごす時間を大切に考えているので、職員は積極的に家族に働きかけている。入居当初は利用者が落ち着くまで1週間程泊まってくれた家族や、遠方から親戚が定期的に来訪してくれる利用者もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	ご利用者様同士においても、得て、不得手があり、御利用者様同士による、言動・行動に気を配り穏やかに過ごしていただけるよう努めております。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	不安時のフォローをさせて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	今の思い そしてこれからの生活への希望・意向を引き出すよう努めております。困難な場合は、今までの生活歴とご家族のお話を元にその人らしさを引き出すよう努めております。	生活歴の中で今までやっていたことや仕事、趣味、家族との関係(キーパーソンは長男だが次男により思い入れがある等)を重視して、できる限り環境を整えるようにしている。アセスメントは変化が見られた時に見直しをしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用開始時のアセスメントだけでなく、入所後の様子を含め、知りえた情報を記録に残し、職員間で共有できるようにしております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	御利用者様との会話の中や、日々の暮らしの中での観察に努めております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様個々に職員の担当制をとっており担当職員を中心にカンファレンスを開き、看護・介護又生活全般において話し合いの場を設けております。	モニタリングは担当職員を中心に行い、ケアマネと計画作成担当者がプランを作成している。プランは日々の話し合いの中で都度変更し、現状に即したものになるようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護・看護記録に日々の記録を記入し、口頭での申し送り、申し送りノートでの確認を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人を含め、家庭内での問題に対し、柔軟に取り組むよう努力しております		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館の利用、地域ボランティアの受け入れ等、豊かな暮らしが営めるよう支援しております。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月一回の往診(入所前よりかかりつけ医による往診も含む)常勤の看護師により、健康管理に努めている。緊急時の対応に対してもご家族との話し合いを行っている。	24時間対応で月に1回往診があるので利用者のほとんどが事業所の協力医に変更している。看護師が医療情報をまとめ保管している。薬の変化は申し送りノートで周知を図っている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	「いつもとは違う」という、利用者の状態を速やかに、看護師、責任者へ報告出来ている、利用者様の訴えから、看護に関わる事や、医師への必要事項の報告ができています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、入所～現在までの様子や、又入院に至るまでの様子、内服薬、バイタル等サマリーを提供している。入院中面会に行き病院関係者と現在の様子、今後の予定等情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることができることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	救急時での連絡体制は話し合いを行っています。終末期のあり方については、今後の課題であり、ご家族との話あいの場を検討しております。	緊急時の対応について話し合い、マニュアルにまとめている。急変時はサマリーを作成して主治医に渡している。医療行為が必要なければ看取りに取り組む考えがある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	消防訓練時MEDの使用法の指導を受け、急変時の対応、応急手当等今後勉強会を行い、知識と実践を身に付けていきたい。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進委員会時には、必ず議題に組み込み地域での避難方法を伺っている、又火災を想定した火災訓練を行ったが、まだまだ職員全員にいきわたっていない。	消防署指導のもと防災訓練を1回実施している。事業所独自の訓練はこれまでに数回行って、今後は3ヶ月に1回の定期的な訓練を目指していく予定である。またAEDを設置しており、取扱い方法を学んだので以降は実地訓練を検討している。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人として、言葉を傾聴することを心掛け穏やかに今の暮らしに合った声掛けを行っています。プライバシーの保護に関しては徹底し行っている	職員の声が高まってしまう時は管理者が間に入り、自己反省できるよう促している。接遇の研修を事業所内でも実施していくことを視野に入れている。	研修に取り組み、職員の意識がさらに洗練されることを期待したい。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来る限り本人の意思を尊重し、決定して頂くよう心掛けております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	御利用者様の日々の体調、精神的状態を把握し、その時にあった、ペースで穏やかに過ごして生活して頂けるよう、心がけております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	男性らしさ、女性らしさ、を忘れずに、その時の思いを傾聴し、支援しております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者様の好き嫌いを把握し提供しています。残存機能を活かし野菜の下ごしらえ、味見、後片付け等をして頂いています。	冷蔵庫の中を見てメニューを決めている。食材の買い出しに職員と一緒にいたり、野菜をカットしたりと参加できる部分を楽しんでいる。おやつもほぼ毎日手作りのものを提供している。誕生日には出前を取り普段の食事とはちがう雰囲気も味わうこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事以外に10時・15時は必ず、水分補給をおこない、毎月体重測定を実施し、量、バランスにきをつけております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後のケアへの声掛け支援、介助を実施、行っています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定期誘導・声掛け・見守りと各利用者様に合った排泄方法で行っている。又排泄表を記入し、尿はもとより、排便状態の確認調整を行っている。	チェック表に基づき利用者の状態を把握しながら誘導や声かけをしている。日中はおむつを全員していない。パットが必要なくなったり、状態の改善から布パンツで十分対応可能であっても利用者の希望によりリハビリを使用しているケースもある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝、毎食時、音楽に合わせて軽く体操を行ったり、フロア内を歩いて頂くなど工夫を行っております。又職員知識向上に努め、便秘予防体操、リハビリ等の導入もかんがえております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週3回日中に入浴をして頂いています。個浴にて提供している為入浴日は職員により、決めさせていただいております。又気分の乗らない時は、強要せず時間を置き様子を見させていただいております。	午前・午後に湯を循環しながら入浴を実施している。希望があれば毎日入浴することもできる。入浴剤を2種類用意し、楽しめるように工夫している。1対1の介助のため話が弾み、利用者の心の声を聴ける機会になっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	週一回のシーツ交換、布団干し等環境整備を行っています。又、午前・午後とトマ使用にて、足部のマッサージを提供しています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬の変更がある場合には、職員に報告し、変更した理由、内服する目的等説明している、内服後の利用者様の状態の変化があれば、看護婦に報告し、又医師への報告を行っている。内服時には、職員同士でのダブルチェックを行っています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	各利用者様の特技を生かす活動を行っています。又毎週レクの日を設け、外出、食事会等の気分転換を図っております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	季節に沿った外出 催し物見物、外食 職員との買い物など行っている。家族の方への依頼も積極的に行っている。	天気のいい日は散歩に出かけていて、途中野菜の無人販売に立ち寄るのを楽しみにしている利用者もいる。サーカスの見物や紅葉狩りに行き外食を楽しむこともある。また、なるべく家族にもお願いして外出する機会を作っている。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金の管理は、基本施設側にてさせて頂いておりますが、外出時等必要に応じて使用して頂けるよう支援しております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を希望させる、御利用者様には、お話しできる環境作りへの支援をさせて頂いております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テレビ前にソファを配置し、ゆったりとした空間作りに心掛けている、季節感を表す壁画など利用者様と共同に作成し展示することにより、利用者様と職員との共有の話題提供にも心掛けている。	木をふんだんに使用して温かみのある空間になっている。キッチンの通路も広く、利用者が自然とキッチンに立ちやすく、共用空間や居室への行き来もスムーズで開放的な印象がある。利用者の希望で行事写真を飾り皆で話材にしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	カーベットを敷き気軽に読書のが楽しめるスペースや、ソファの設置、畳のお部屋等を利用されるよう、居場所作りの工夫を行っております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個室にて提供している、各利用者様なりに工夫ご自分のお部屋作りをされている。	畳マットを入れたり布団を使用したりと、個々の生活に合った空間作りをしている。テーブルと椅子を置き、外の景色を眺め思いにふけりながらノートに書き留めるなど、その人らしさが表れている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差による転倒リスクの無いよう環境整備に心がけ、なるべくご自身での日常生活が営めるよう援助させて頂いております。		